

前芝中学校通信

～校長室の窓から～

豊橋市立前芝中学校

第38号

H27. 1. 29

学年のまとめを

～ 新しい学年を迎えるためのよりよい助走をしよう ～



2015年がスタートし、1か月が過ぎました。今年が皆様にとって最良の年でありませう、心より願っております。

さて、子どもたちは大きな事故、けがなどもなく、充実した冬休みを送れたようです。143人の生徒全員が元気に新しい年をスタートすることができ、大変うれしく思います。しかし、猛威を振るっているインフルエンザは、本校にも多少の罹患者が見られます。ご家庭においても、引き続き予防や早目の対応をよろしくお願いいたします。

冬休み中の12月27日、ハンドボール部は岡崎で行われた三河地区東西対抗戦に東三河の代表校として臨みました。顧問の山田先生によると、試合内容は11月の県大会からさらに成長の姿を見せたものでした。また、1月24日(土)のハンドボール部を皮切りに、ソフトテニス部、バスケットボール部でも1年生大会があります。今は練習時間が短い部活動ですが、集中して活動し、良き伝統をつなげていくことを期待しています。

さて、1月7日の「はじめの会」で、子どもたちに箱根駅伝で完全優勝を成しえた青山学院大学の話をしてながら次のような話をしました。

- ① 目標を具体的に立て、目標に向かって日々努力すること
- ② 今できることの半歩先のことを積み上げることで、結果が出ること（やればできる！）
- ③ 今から3月までの時期は、学年のまとめの時期、
『1年生』は後輩から「あんな1年生になりたい」と憧れられる集団になるように
『2年生』は、3年生の0学期だと思って授業や部活動でしっかり力をつけ、行事や委員会活動で、先輩の後を引き継げるように
『3年生』は、前芝中で学ぶ最後の2か月。自分の進路実現に向けて、時間を惜しみ、最後まで踏ん張って努力をし、将来の夢に結び付けるように

“締めくくりの3か月間が、新しい学年となったときへの助走”と意識し、一日一日を大切に過ごしてほしいものです。

前芝中学校の活動・生徒の姿から

【百人一首大会】 1月7日(火)

第37回目の百人一首大会を行いました。全校生徒が男女や学年の枠を超えてグループを組み、かかわり合うなかで日本古来の文化に親しむことを目的としています。大会に先立ち、前校区自治会長の加藤さんの尺八と前芝町にお住いの酒井さんによる琴で“さくら”等、新年にふさわしい演奏を聴かせていただきました。

百人一首大会は、生徒会役員の皆さんが冬休みからグループ分けや先生たちの袴を作るなど、準備を進めていました。大会は先生が交代で詠みましたが、上の句を詠んだところで下の句が拾えた生徒も多々いました。優勝は1年生の女子生徒でした。宿題で何首も覚え、お正月も家族で行ったそうです。1年生の優勝に「来年は巻き返しを」と誓った2年生も多いことでしょう。個人2位・3位の生徒、学級対抗については、すこやか新聞をご覧ください。

